

The Record 2020

vol.723

February 2



The Record 2020.2 vol.723

実践！働き方改革

令和元年度（第74回）文化庁芸術祭賞決定

1 Monthly News Digest

特集

3 実践! 働き方改革

特報

9 令和元年度(第74回)文化庁
芸術祭賞決定

10 私の一枚 season 2

11 Data File
2019年ミリオン認定作品

12 2019年1月~12月新譜タイトル数

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

12/2 Monday

RIAJセミナー開催

昨年12月2日、東京都港区の共同通信会館会議室にて、当協会会員社の法務担当者を対象に第88回RIAJセミナーが開催された。

今回は、第一部を当協会著作権・契約部苅部課長が、第二部を分配・業務部飛世課長が、第三部を著作権保護・促進センター(CPPC)末永センター長がそれぞれ講師を務め、「集中管理・分配・違法対策について」をテーマに講演を行った。



第一部では、レコード関係の著作権法改正動向が紹介されたのち、当協会の集中管理事業概観や放送二次使用料及び送信可能化権集中管理事業についての説明があった。続く第二部では、当協会が徴収する各種使用料の分配に関する説明、第三部では、無許諾音楽アプリ対策を中心に当協会の違法対策が紹介され、最後の質疑応答のセッションにて講師が受講者からの質問に対応した。

当日は約80名が出席し、受講者からは、「実務に関連する内容で役に立っ

た」「RIAJの業務について理解が深まった」等の声が寄せられた。

I/6 Monday

2020年新年賀詞交歓会開催

1月6日、当協会は東京都千代田区のホテルニューオータニ「芙蓉の間」において、恒例の新年賀詞交歓会を開催した。

当日は、当協会重村会長の挨拶に始まり、来賓を代表して佐々木さやか文部科学大臣政務官より祝辞をいただいた後、羽入佐和子国立国会図書館長、三又裕生内閣府知的財産戦略推進事務局局長並びに音楽関係団体代表者らによる鏡開きが行われ、甘利明自由民主党音楽文化振興議員懇談会会長に乾杯のご発声をいただき、賀詞交歓と歓談に移った。

年初早々ご多忙の中、国会議員の先生方をはじめ、関係官庁、関係団体、マスコミ、販売流通業界、その他関係各方面から1,000名を超える方々にご来場いただき、新年の挨拶を交わし合う晴れやかな会となった。なお、当日ご出席頂いた国会議員の方々は以下のとおり(敬称略、50音順)。

甘利 明(自民・衆)、市田 忠義(共産・参)、海江田 万里(立憲・衆)、柿沢 未途(無・衆)、片山 さつき(自民・参)、吉良 よし子(共産・参)、櫻田 義孝(自民・衆)、佐々木 さやか(公明・参)、下村 博文(自民・衆)、高木 美智代(公明・衆)、富田 茂之(公明・衆)、畑野 君枝(共産・衆)、牧山 ひろえ(立憲・参)、松原 仁(無・衆)、山口 那津男(公明・参)



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

「第12回CDショップ大賞2020」入賞作品発表

CDショップ大賞実行委員会は、「第12回CDショップ大賞2020」入賞作品を発表した。

CDショップ大賞は、「行かなきゃ 会えない 音がある。」をスローガンに、CDショップの現場で培われた店員の目利き・耳利きによって、賞をきっかけにブレイクが期待される、“本当にお客様にお勧めしたい”作品を“大賞”として選出する。このたび、2019年1月1日～2019年12月31日に発売された邦楽の新譜（ベスト盤を除く）を対象に、全国各地域のCDショップ店員が投票に参加し、投票上位15作品を入賞作品として選出した。

全国CDショップ店員が選んだ
「行かなきゃ 会えない 音がある。」



第12回CDショップ大賞2020

作品名	アーティスト名	品番
瞬間的シックスセンス	あいみょん	WPCL-12996
9999	THE YELLOW MONKEY	WPCL-13119
So kakkoi 宇宙	小沢健二	TYCT-69163
Traveler	Official髭男dism	PCCA-04822
燦々	カネコアヤノ	NNFC-03
Sympa	King Gnu	BVCL-930
834.194	サカナクション	VICL-65194~5
三毒史	椎名林檎	UPCH-20513
見つけ	スピッツ	UPCH-2194
Chime	sumika	SRCL-11066
21世紀より愛をこめて	Tempalay	PECF-3234
Songs of Innocence&Experience	DYGL	HEC-006
エアにに	長谷川白紙	MMCD-20032
Night Flow	パソコン音楽クラブ	PSCM002
CARROTS and STiCKS	BiSH	AVCD-96303

※アーティスト名五十音順

大賞作品<赤><青>*は、全国各地域のCDショップ店員による最終選考投票によって決定。大賞作品、およびその他の賞の発表は、3月上旬を予定している。

▶全日本CDショップ店員組合サイト <http://www.cdshop-kumiai.jp/>

※大賞作品 <赤>…何回でも聞きたい素晴らしい作品=#神アルバム(と呼べるようなスタンダードとなりうる作品)
<青>…新人の素晴らしいアルバム。店頭から全国に向けて賞をきっかけにブレイクが期待される“本当にお客様にお勧めしたい”作品

会員社のお知らせ

■移転(1月)

社 名：株式会社コナミデジタルエンタテインメント(準会員)
新 住 所：〒104-6139 東京都中央区晴海1-8-11
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーY棟39F
新電話番号：03-6867-0573

実践！働き方改革

2019年4月1日から順次施行された働き方改革関連法は、現在日本が直面する「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「ワークスタイルの多様化」等の課題に取り組むべく、これまでの労働環境を大幅に見直し、働く人々がそれぞれの事情に応じて多様で柔軟な働き方を自ら選択できる社会の実現を目指している。それは音楽・エンタテインメント業界においても例外ではなく、雇用環境の早急な整備が迫られてきた。今号では、働き方改革関連法で押さえておきたいポイントを紹介するとともに、会員レコード会社ご協力のもと実施した座談会の模様と、それを受けた専門家による解説を特集する。

「働き方改革関連法」の主なポイント

Point1 労働時間法制の見直し

「働きすぎ」を防ぎながら、「ワーク・ライフ・バランス」と「多様で柔軟な働き方」を実現する。

<見直しの内容>

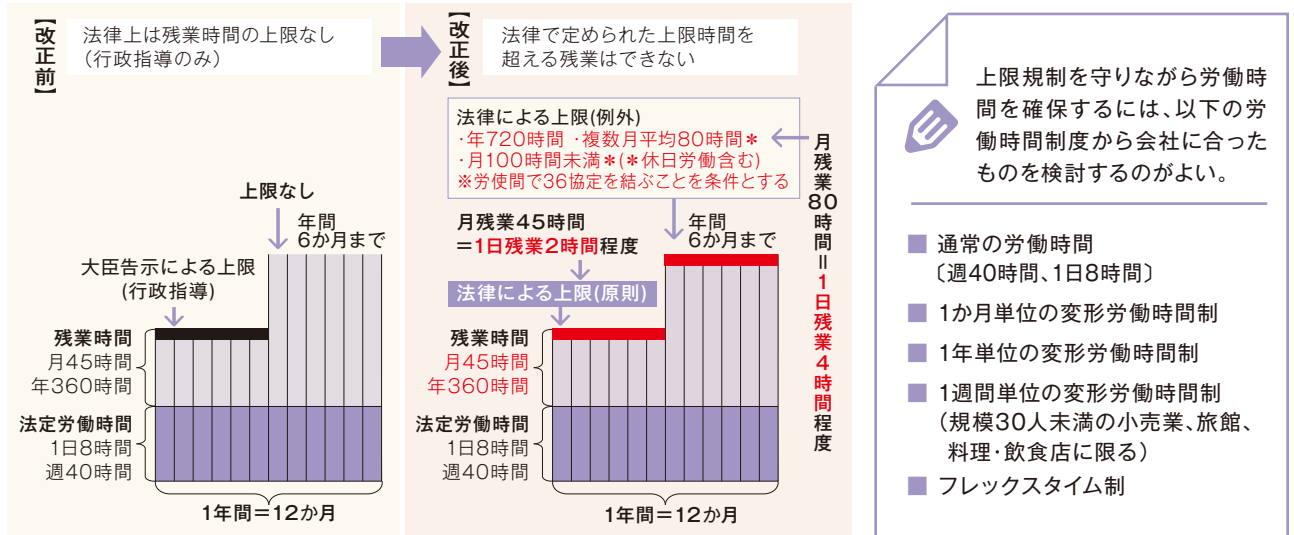
<ul style="list-style-type: none"> ① 残業時間の上限を規制する ② 「勤務間インターバル」制度の導入を促す ③ 1人1年あたり5日間の年次有給休暇の取得を企業に義務付け <ul style="list-style-type: none"> ▶ 年10日以上有給休暇が付与されているすべての労働者が対象 ④ 月60時間を超える残業は割増賃金率を上げ(25%→50%) <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大企業はH22年度～実施 ▶ 中小企業はR5年度～適用猶予が廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 労働時間の状況を客観的に把握するよう、企業に義務付け <ul style="list-style-type: none"> ▶ 働く人の健康管理を徹底 ▶ 管理職、裁量労働制適用者も対象 ⑥ 「フレックスタイム制」の制度を拡充 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 労働時間の調整が可能な期間(清算期間)を延長(1か月→3か月) ▶ 子育て・介護しながらでも、より働きやすい環境に ⑦ 専門的な職業の方の自律的で創造的な働き方である「高度プロフェッショナル制度」を新設、選択可能とする <ul style="list-style-type: none"> ▶ 前提として、働く人の健康を守る措置を義務化(罰則つき) ▶ 対象を限定(一定の年収以上で特定の高度専門職のみ)
---	--

※「高度プロフェッショナル制度」についてはP8も参照

Pick UP

残業時間の上限を規制

法改正前は、法律上は残業時間の上限がなく、行政指導のみだったが、改正後は法律で定められた時間を超える残業はできなくなる。



Point2 雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保

同一企業内において、正社員と非正規社員(パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者)の間で、基本給や賞与などあらゆる待遇について不合理な待遇差を設けることが禁止される。また、裁判の際に判断基準となる「均衡待遇規定」「均等待遇規定」を法律に整備し、どのような待遇差が不合理に当たるか明確性を高めるためのガイドラインが策定された。

均衡待遇規定(不合理な待遇差の禁止)

- ①職務内容(業務の内容+責任の程度)、②職務内容・配置の変更範囲、③その他の事情の内容を考慮して不合理な待遇差を禁止

均等待遇規定(差別的取扱いの禁止)

- ①職務内容(業務の内容+責任の程度)、②職務内容・配置の変更範囲が同じ場合は、差別的取扱い禁止

クリエイティブな業務は時間で測れるのか

音楽業界における「働き方改革」最前線と課題

働きやすい職場環境を作るための様々な施策が講じられるなか、労働時間の上限規制や有給休暇の徹底消化は大きなポイントとなっている。しかし、音楽業界には労働時間では簡単に割り切れない業務も多い。ここでは、その最前線で働き方改革を進める当協会正会員社4社の人事・総務関連担当者の皆さんによる座談会を実施し、現状と課題について語り合っていたいた。



小樽洋史

株式会社ポニーキャニオン
総務人事本部 本部長
(兼) 人事部 部長
(兼) 秘書室 室長

小川尚信

エイベックス株式会社
人事総務本部 人事グループ
第1人事ユニット
マネージャー

齋藤洋子

ユニバーサル ミュージック
合同会社
人事総括本部 人事部 部長

丸山富弘

株式会社ソニー・ミュージックエンタ
テインメント
人事組織グループ 人事組織ルーム
チーフマネージャー
兼 事業戦略グループ事業創発推進
チーム プロデューサー

新たに取り入れた制度と課題

—この度、働き方改革をめぐる法改正で労務時間の上限が定められ、年休5日の時季指定義務を遵守しなければならなくなりました。単純に「定時」「土日・祝日は休日」と区切ることのできない業務も多い音楽業界ではありますが、そのなかで柔軟な働き方を実現するために導入した制度、または改善した制度はありますか。

小樽 (以下敬称略) **[ポニーキャニオン]** 当社ではまず、2017年夏に働き方改革実行委員会を立ち上げました。課題は多くありましたが大きな改善点は、就労時間などを細かく規定するという意味で、2018年10月に就業規則と給与規定を変更したことです。具体的にはフルフレックス制の導入や、みなし残業を給与に入れるといった取り組みを行っています。そもそも労働時間とは何かを定義するところから始め、法律や弊社の就業規則、労使協定を伝える社員説明会を徹底して実施しました。そのおかげもあって、社員の理解が進み、残業が80時間を超える社員が減るなど、成果が出はじめてきています。

小川 **[エイベックス]** 当社は2015年11月から事業、組織、個人の働き方のすべてに及ぶ会社全体の構造改革を行いました。柔軟な働き方という観点でのポイントとしては、新オフィスへの移転と、コアタイムなしのフルフレックス制の導入です。特に2点目は、一般的な働き方改革の指標が音楽業界の働き方に当てはまらない部分もあるので、他業界や海外事

例なども参考にしています。

また、テレワーク (Free Location)、フリーアドレス (Free Address)、フレックス (Flex Time) の3つで、場所や時間を選ばずにどこでも働くことができる環境を用意する「FFF制度」を取り入れました。フレックス制については、例えば制作担当で1日がかりのレコーディングになったとしたら次の日は出社をしないとといったように、月の所定労働時間の中で、各社員が上長と相談の元、自由に管理できるようにしています。また、勤怠管理システムを自主開発し、自社にとっての利便性を追求しています。

齋藤 **[ユニバーサル ミュージック]** 当社は2018年4月の全従業員正社員化と、働き方改革に合わせた“生産的で柔軟な働き方”の実行を2本柱として多くの制度を改革しました。フルフレックス制を設けたほか、労働時間に関するガイドラインも作成し、「飲酒を伴う会食は労働時間としない」といった具体的な事例も説明会で伝えました。

36協定に対する法令遵守がありますので、みなし残業をアクチュアルに換算していくことも行いました。振替休日と代休の区別も曖昧だったので「振替休日を使うように」と指導したところポイントでしょうか。

ほかには残業削減のために、「このくらい働くだらう」という予測時間を上司との間で“見える化”して、それを上回るようなら振替休日を取るようにしたり、残業の少ない人に仕事を振り分けられるようにして、上長がコントロールできるようにしました。

勤怠システムについては2019年7月に新しいものを導入し、それらの成果で振替休日と有給取得率は上がりました。テレワークについても前向きに検討しています。

インプット休暇の活用も促して、消化できなかった有給休暇があれば、それを傷病休暇に当てて最大で20日まで使えるようにしています。そういう大義名分があれば、インプット休暇を使いやすいです。育児でいうとフレックス制を使えるので、復職率は100パーセント。とても評判がいいです。

丸山 [ソニー・ミュージックエンタテインメント] 当社は10年以上前から裁量労働制を採用しています。そのため一部のスタッフにおいては、労働時間への柔軟さは以前からあったのですが、2018年に働き方改革の軸として「フレキシブルワークスタイル」というお題目のもと、グループ全スタッフが柔軟な働き方ができるよう、これまで裁量労働制を適用していなかったスタッフにもフレックスタイム制を導入しました。そして、フレックスタイム制を浸透させるべく、全スタッフへのeラーニングや管理職研修を実施しました。また、勤怠管理システムも2018年に一新し、モバイル端末での打刻も可能にしました。働き方改革を進めるにあたり、客観的なデータを集積した上で次のステップに進めたく、打刻は徹底するように呼び掛けています。また、長時間労働になっているスタッフを毎月ピックアップして、改善を促すようグループ各社に伝えています。ただ、働き方改革を推し進める際に、労働時間の定義を改めて共有したものの、この業界特有のライブやイベントでの待機時間など定義が難しい時間もあるので、そのあたりは課題ですね。

—フレックス制は4社とも導入されていますが、さらにテレワークをどう取り入れるのかということは、これからの課題のように思います。また、ライブ現場、レコーディング現場における労働時間の在り方は、就業規則などの制度では簡単に割り切れない課題に見えます。

丸山 テレワークによる在宅勤務の導入は時期尚早だと思うので、静観中ですね。まずはグループ全体に時間の柔軟性を取り入れ、次の検討課題としています。ただ、PCのリモート接続やモバイルの貸与等、通信環境はシステム部門を中心にかなり以前から着実に進めて来ています。

小樽 皆さんの取り組みを聞いて、問題意識も、そこから生まれた施策も課題も似ていると思いました。テレワークについては、当社では来年度の制度化に向けて2019年の夏にテストを行い、何がいい形なのかを検討しています。特に制作担当の業務時間については、やはりクリエイティブな仕事はアーティストさんや外部スタッフなど相手があつてのものなので、色々試しているところです。相手に合わせると規定の労働時間をオーバーしてしまいますので、業務の一部を外注したり、チーム制を組んで交代できる体制を整えたりもしています。必要があれば、部署長の者が相手先に説明に伺ってご理解いただく場合もあります。ただ、どこまでうまく回って



いるのかは、もう少し様子を見てみないとわからないのが実情です。

小川 クリエイティブな仕事、特に音楽制作の在り方は音楽業界独自の特性ですよ。「好きだからやっているので大丈夫です」と言う社員もいますし、どこまでが仕事でどこからが仕事でないのかという線引きが難しいです。でも、「それはよくないから打刻はしてくださいね」と話しますが、アーティストと対峙しなければならない担当のモチベーションを下げてしまうのもよくありません。そこが、この業界ならではの最も難しいところです。

働き方改革の成果と喜びの声

—そういった現状、課題があるなかで、働き方改革を進めて社内でも好評だったことは何でしょうか。

齋藤 働き方改革の考え方が浸透してくると、昔のような「休みなく仕事をするのが素晴らしい」という雰囲気はなくなりました。制作担当をはじめ「休みたくても休めない」という社員がいるのは悩ましいことですが、それでも以前より休みやすくなったのはいい風潮だと思います。レコーディング現場にずっといなければいけない場合は、朝の会議は出なくていい、もしくは電話報告で済ませる、土日のイベントが多いレーベルスタッフは、平日のどこかを定休日にする、というように、業務内容に合わせた工夫をしています。

また、オフィスをフリーアドレスにしたことで、会社から帰りやすくなったという意見もありました。自分で労働時間を管理できるフルフレックス制とフリーアドレスは音楽業界に合っていると感じています。

丸山 グループ全体での柔軟な働き方を掲げ、裁量労働制に加えてフレックスタイム制を導入したことで、育児中の女性社員で短時間勤務を選択する人は少なくなりました。早く出社する日を作るなど時間をうまく調整することで給与を減らさずに働けるのでありがたいという声があがっています。

小樽 働き方改革を始めてみて「インフラの整備が必要だ」という声があがったので、クリエイティブに携わる部署へポケットWi-Fiを導入したところ「神ツール」と好評でした

(笑)。働き方委員会を立ち上げたときに行なった、どこでどのような業務をしているのかを把握するための業務スクリーニングで、「2つの打ち合わせの合間の、喫茶店での待ち時間は業務時間に入るのか」という話が出ました。ならば合間に業務ができる環境を整えれば、それが勤務時間となり、残業も削減されていくだろうと。

また、管理部門を含めて部門を問わず全員にiPhoneを支給して、GmailやLINE WORKSを使って簡単に連絡が取れるようにしています。テレワークテストでは、実際にLINE WORKSの機能を使って部会を開催してみました。柔軟に働ける環境を提供するという意味では、いいツールだと思います。

制度としては、2017年から有休奨励日を設け、社内では相当浸透し、取得率が向上しています。将来を見据え、介護や育児をしている社員のために、育児休業を上限3歳に達するまで取得できたり、時短勤務を小学3年終了時まで可能にしたり、介護家族を抱える方は積立休暇を上限150日まで使えたりしています。これらは、男女問わず社員の評判がいいです。

小川 端的に言うとフレックス制とテレワークはよかったです。深夜までレコーディングをした翌日に、特に予定は無いが定時だからと10時出社をするような非効率な負担が無くなりましたし、残業時間の削減にもつながりました。育児や介護にしても、テレワークがあることで自分の時間を管理できるので、仕事を進めやすくなったと思います。

当社のFFF制度がうまく機能したのは、チャットツールや電話帳アプリなどITの活用があっただと思います。また「ミライ手当」という、時間外労働の有無に関わらず、時間外20時間分の手当を支給することで、効率よく仕事をし、早く帰社する社員も増え、結果的に全体の残業時間の削減につながりました。さらにインプットの時間やお金に余裕が出ることで、社員のスキル向上にも繋がっています。

割り切れない制作業務。 課題を越えるために

—内勤の社員の方に対しては着々と改革が進む一方、制作担当の社員に対しては、働き方改革への理解は浸透しながらも、尚、高い壁があるように思えます。これは各社の取り組みの話ではなく、業界全体で思案すべき大きな問題なのではないでしょうか。

齋藤 どうしてもアーティストと向き合う仕事なので、自分の力では如何ともしがたい外的要因に対し、どのように改善すればよいかを悩みます。制作、プロモーション、プロダクトマネジメントといった業務は垣根が曖昧なところもあるので、一概に裁量労働制を適用しても残業の部分が見えにくくなります。クリエイティブな仕事に対する働き方改革の措置はないのかなと。

小樽 私も同じことを考えていました。当局にも確認したのですが、今の法律ではエンタテインメント産業にうまく当てはめる形が難しいと。もっといえば、国はエンタテインメント産業における労働時間の在り方をどう見ているのか、意見を聞いてみたいですね。アーティストは特殊な存在ですし、生みだされる作品は国の文化にも寄与するものですので。

—厚生労働省をはじめ、エンタテインメント業界に精通した専門家の見解が必要な問題でもあるということですね。

小川 エンタテインメント業界に“専門家”という職種が定義できていないのだと思います。これからの世の中で、スペシャリストといわれる職業は増えると想定されるので、労働時間に左右されない“専門家”の定義づけが求められてくるのではないのでしょうか。

齋藤 この業界はアウトプットした産物と労働時間が比例しない仕事でもあります。1秒のひらめきで生まれるものもあれば、365日かけて生まれるものもあり、単純に時間では計りきれません。

小樽 ヒットメーカー的な社員が「今月は休めません」となると、労働時間を規制しなければならない一方で、働き方改革の制度にどうやって当てはめるのかは悩みどころです。ヒットあつてのこの業界ですし、クリエイティブを阻害することになると本末転倒になってしまいます。

丸山 となると、産業全般に言えることですが、個人的見解としては、そもそも残業代という概念が好ましくないと思っています。日本の産業も製造業が中心だった時代は仕事の量を時間で捉えて良かったものの、今後のテクノロジーやクリエイティブな産業が中心となって来る時代には、業種により、時間で対価を変動させるのではなく、何を生み出したかで対価が払われるべきです。また、健康管理の側面からも残業代が長時間労働をもたらしているとも言えますよね。

—クリエイティブな仕事における“残業”という概念から考え直さないといけないように思いました。では、最後に働きやすい職場環境作りのために行っていること、予定していることを教えてください。

小樽 2017年、「クリエイティブ」をキーワードに企業理念を一新しました。クリエイティブな時間を作ることを、働き方改革の大命題として掲げたわけです。社内で新規事業が生



まれるなか、自分の時間を有効活用するために、2018年から語学やMBAなど、必要な資格を取得するための学習支援制度を始め、利用者も増えています。

海外研修制度も設けたのですが、2019年にその第一号となった社員がフランスに短期留学し、現地のカルチャーを学び、全社員を前に発表会を開きました。このような海外研修や語学の学習支援は費用を全額負担しています。また、就業規則に副業の規定を設けて、許可制にはなりますが副業を認めるようにしました。これらの施策で社員の意識は変わりつつあります。

小川 縦割りの組織で進めるだけではなく、グループ会社全体で利益を考えられるように意識改革を行っています。また、多様性というキーワードもあって、プロジェクト制を採用しました。プロジェクトにおける評価は、それぞれの現場のプロジェクトリーダーから所属部署の上長に報告されるスキームとなっています。例えば私は人事業務のほかに、レーベルの仕事にも関わっています。それぞれのスキルを活かして、主体性を強化しているということです。

齋藤 うらやましいですね……(笑)。今は検討段階ですが、トレーニング体系の整備、特にマネージメント研修などを考えています。音楽業界には「俺の背中を見て育て」という空気もありますが、今までの殻を破って新規ビジネスに取り組むためにも、マネージャークラスのトレーニングにはぜひ力を入れたいです。

丸山 課題の話になりますが、50代の社員が増えているこ

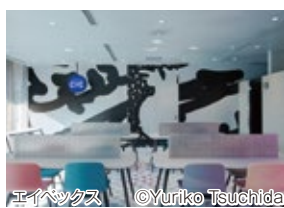


とに加え、今後の定年延長時代の到来も鑑みると、「シニアの活躍の場」を考えることが喫緊の課題と思っています。会社や国全体が高齢化するなか、音楽やアニメにおいてもシニアのユーザーがメイン層となるコンテンツも増えています。若年層を相手にする業界という見られ方が多いので、シニアの話は社内的にネガティブなテーマになりがちですが、ポジティブな未来を模索していきたいと考えています。

また、従来は、ミリオンヒット等、ひとつの軸の中で、ヒットを作ったら評価が高くなる、というケースが多かったのですが、働き方のシステムやヒットのカタチが多様化してきているので、新しい評価軸を取り入れないと、評価や給与の納得感が得られず、エンタテインメント産業の発展に繋がらないと考えています。人事担当としては、そんな新しい評価制度の構築も編み出していきたいと思っています。

各社のオフィス環境に関する取り組み

エイベックスは新オフィスが2017年12月にオープン。社内外のコミュニケーションを軸に設計されており、エンタメと関連性のある企業とシナジーを産むことを目的としたコワーキングスペースなども設けている。働き方改革と連動し、各自が自分というものがどうあるべきか考え、テレワークなどで時間管理をしながら主体性を持って働ける環境を目指す。



ユニバーサルミュージックは、2018年9月下旬に原宿に移転。フリーアドレスを導入。社員の健康をサポートし、働きやすい環境をつくるための取り組みとして、グローバル全体で「ウェル・ビーイング」の制度を推進しており、日本では、立地を生かした早朝のウォーキングやマインドフルネスを学べる講座などを開講している。

ポニーキャニオンが2019年5月に移転した新社屋は、「コミュニケーションからのイノベーション」がコンセプト。執務フロアを中心にコミュニケーションスペースを設置。部署を超えてクリエイティブな発想が生まれるつくりとなった。カフェラウンジは、ランチの提供や社内パーティー、正月餅つき大会など懇親の場所として親しまれている。



ソニーミュージックグループでは、会議室やミーティングスペースの増設、コワーキングスペースの設置等、ハード面のオフィス環境は総務部門が随時充実させている。また、ソフト面においては、2018年10月より働き方改革として各種施策をスタートさせ、2019年には「Challenge Spirit Incentive」というグループ内のチャレンジ精神を育む施策もスタートさせている。



前ページの座談会にオブザーバーで参加いただいたひかり協同法律事務所の三上安雄弁護士に、音楽・エンタメ業界、および他業種における働き方改革のポイントについて話を聞いた。

Q1 座談会でも話題になった、自身の裁量ではどうにもならないような外的要因(例:担当アーティストに同行した際の待機時間など)で発生した時間の扱いは?

待機時間(手待時間)については、ビル管理会社従業員の泊り勤務中の仮眠時間が労働基準法上の労働時間に当たることが争点となった「大星ビル管理事件」の事例があります。最高裁判決(2002年)において、「不活動仮眠時間であっても労働からの解放が保障されていない場合には労基法上の労働時間に当たるといふべきである。そして、当該時間において労働契約上の役務の提供が義務付けられていると評価される場合には、労働からの解放が保障されているとはいえず、労働者は使用者の指揮命令下に置かれているというのが相当である」との判断がなされています。つまり、待機時間中に何かあった際に対応する義務が課されているなら、労働からの解放はない＝労働時間に当たるといふことです。

レコーディングやライブなどでアーティストに同行した場合に当てはめると、待機中にどのようなことが義務付けられているか、その“頻度”と“内容”、そして“場所の拘束があるか”がポイントになります。音楽やエンタメ業界には、慣例上同行するが明確な業務がないなど、線引きが難しいグレーの部分も多いですが、過労死に至るといった最悪のケースも想定し、仕事の中身をしっかりと分析した上で労働時間が否かを判断する必要があります。

Q2 「高度プロフェッショナル制度(※1、以下「高プロ」)」は、現在音楽業界、エンタメ業界では認められていないようですが、今後業界として、クリエイターやA&Rなど制作にかかわる職種を「専門家」として高プロの対象になるように働き掛けるなどの議論の余地はあるのでしょうか?

そもそも、高プロが適用されることが必ずしも良いとは言えません。対象業務も非常に限定されているほか、年収1,075万円以上であること、健康管理時間を把握すること、休日を年間104日以上与えること等の厳しい要件があり、現時点でも全国で数百人程度に適用されるのみと聞いています。業務効率化、生産性向上といったメリットもありますが、長時間労働助長にもなりかねず、企業の労務管理がより求められます。これらの点も踏まえ、このような制度が適している業界・働き方なのかどうかを十分に見極める必要があるかと思えます。

※1:高度プロフェッショナル制度…高度の専門的知識等を有し、職務の範囲が明確で一定の年収要件を満たす労働者に対し、労働基準法に定められた労働時間等に関する規定を適用しない制度。



ひかり協同法律事務所
弁護士 三上 安雄

Q3 他業界において、同様の課題とその対応などの具体例はありますか?

例えばソフトウェア開発会社であれば、納品日は動かせないにもかかわらず直前まで仕様変更がある場合には過重労働は避けられません。そのような対応はできない旨をトップや重役などから直接伝えるか、または、別途追加費用を設けることで負担を軽減している事例もあります。ほかにも、運送会社ではコースによって負荷が異なるため、ローテーション制を導入するなど業務の平準化が行われています。そのためには、誰もが忙しいコースを走れるように相応の教育・指導が必要になってきます。

これをエンタメ業界に置き換えると、アーティスト、タレント、俳優などの個人事業主は労働基準法が適用されませんが、共に働くマネージャー、付き人は労働基準法が適用される労働者であり、何かあれば、本人の意思とは関係なく使用者である会社側の責任になります。「この人にしかできない」という聖域をつくってしまうと、本人は雇用が守られるように感じるのかもしれませんが、会社自体は守れなくなってしまいかもしれない。業務を“見える化”して偏りを平準化しなければ、それは労務管理の放棄と一緒です。それよりも、貴重な人的資源を生かし、社会貢献や消費者に目を向けなければならないと思います。

Q4 各社の取り組みをお聞きいただいた感想、ご提案があれば。

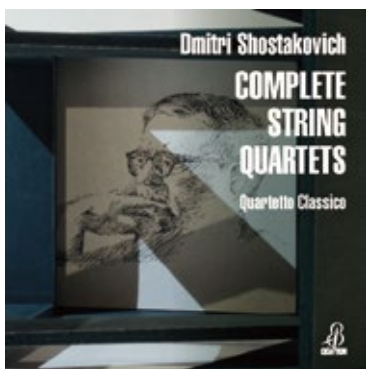
各社とも、社員が自ら考えて仕事に取り組めるような環境を整えた結果、業務効率化、残業削減につながっていることがよく理解できました。IT技術活用による勤怠管理、業務改善もいっそう進むと思われますので、これからの展望も明るいのではないのでしょうか。今後は国内の労働人口減少により人手不足も深刻化していきますので、時代に合った働き方を模索していくことになると思います。

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭賞決定

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭賞が決定した。

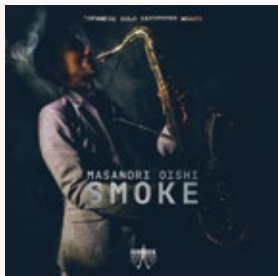
文化庁芸術祭は、広く一般に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術の創造と発展を図り、わが国文化の向上と振興に資するため、文化庁が昭和21年より毎年実施しているものである。今回は関東・関西で行われた演劇45件、音楽43件、舞踊39件、大衆芸能53件の参加公演および10月1日から11月30日の期間に放送されたテレビ・ドラマ14作品、テレビ・ドキュメンタリー43作品、ラジオ19作品ならびにレコード33作品が参加。高い独創性や企画性を基準として、部門ごとに審査を実施し、大賞、優秀賞、放送個人賞、新人賞が贈られた。

ここではレコード部門で受賞した大賞1作品および優秀賞3作品を、審査委員会による受賞理由とともに紹介する。なお、贈呈式は、2月13日に東京都新宿区のリーガロイヤルホテル東京において開催予定。



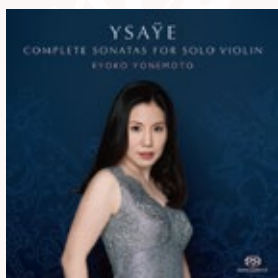
大賞 ▶ 古典四重奏団「ショスタコーヴィチ 弦楽四重奏曲全集」 クレアシオン

ショスタコーヴィチは、ソ連という社会主義体制の国家で活動した。彼の音楽と精神の関係を知ることは容易ではないが、古典四重奏団は彼の15曲の弦楽四重奏曲を取り上げて、作品の本質に肉薄するような見事な演奏を実現してみせた。高い演奏技術はもちろん、楽譜の入念な研究、作曲家への共感、そして芸術的想像力が実を結んだ希有な名演と言えよう。



優秀賞 ▶ 大石将紀 / SMOKE サクソフォン×邦楽器×現代音楽実行委員会

サクソフォンという、現代音楽において、より新しい楽器奏法と創作が求められる領域で、この10年余の間に作曲された作品による当アルバムは、まさにその目的にかなうものである。新作が目目されることで、演奏の可能性が広がることを考えれば、当アルバムは、更なる新作を生み出す契機にもなるであろう。



優秀賞 ▶ イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲 株式会社キングインターナショナル

選曲から手稿譜の調査で得られた知見を生かした解釈と演奏まで、丁寧に作り込まれた本CDは、オランダ・マーストリヒト音楽院教授で国際的に活躍しているヴァイオリニスト、米元響子の初のアルバムである。どの曲も表現が明快で、技術力、表現力ともに秀逸。近年になって発見された未完のソナタハ長調の収録も貴重である。



優秀賞 ▶ 野澤徹也 / 杵屋正邦作品集 公益財団法人日本伝統文化振興財団

杵屋正邦は、長唄三味線の演奏家・作曲家であり、三味線のほか箏や琵琶、合唱曲など千数百の作品を残している。本CDは、代表的な三絃(三味線)作品8曲を選ぶ。主演奏者の野澤徹也は、特定流派に属さず幅広く活動している。同人の日頃の演奏活動を生かした精緻で高い技量の演奏により、現代邦楽のCDとして高い完成度を示した。

私わたし の season2 一枚いちまい



金野 貴明

株式会社ティートックレコーズ 代表取締役



『ラスト・イン・ピース』
メガデス

光栄にも「私の一枚」のコラム連載のご依頼をいただき、二つ返事してしまいましたが、いざ執筆に取り掛かるとこの一枚が選べない。近年はジャズ、クラシック、和楽器等のアコースティック作品のプロデュースをメインにしておりますが、元々はポップスやロックを聴いて育ってきました。悩めば悩むほど、今まで愛聴してきたアルバムの数々が押し寄せるばかり。まずは順を追って、私の少年時代に聴いていた音楽からご紹介していきたいと思います。

小学3年生の頃に芸能界に興味を持ち、勉強とスポーツの合間に、こっそりとダブルラジカセを活用して自作曲を制作したり、校内の行事等で歌唱するなど芸能界に入ることを夢見る少年でした。当時は近年同様に、ジャニーズ、アイドル、アニメが主流で、演歌も大変人気な時代でした。

中学に入り、第二次バンドブームの到来。X (X JAPAN)、BUCK-TICK、デッドチャップリンなどのハードロックやビートパンクにも興味を持ち、ギターやベースを購入して練習に明け暮れる日々でした。そして、中学3年の頃に通っていた塾の英語講師から「英語の勉強には洋楽を聴くといいよ」と「MTV」を録画したビデオをいただいたのがきっかけで、そこではじめて洋楽を体感しました。

正直、全て英詞ということもあり暫くの間は、聴いていてもあまりピンと来ませんでしたが次第に洋楽の虜になっていきました。ボンジョヴィ、エリック・クラブトン、エクストリーム、スキッド・ロウなどをよく聴いていましたが、はじめて購入した洋楽CDを、今回の「私の一枚」にさせていただこうと思います。メガデス『ラスト・イン・ピース』です。

MTVで観た「ハンガー18」のMVの世界観、エネルギー、テクニクに衝撃を受け大ファンになり購入した作品です。同時期にデビューした「メタリカ」「スレイヤー」「アンスラックス」など有名ですが、メガデスはゴリゴリのスラッシュメタルサウンドだけではなく、デイヴ・ムステイン (Vo&Gt) の個性的な歌声とエネルギー溢れるギターを軸に、マーティ・フリードマン (Gt) のメロディアスなフレーズからアグレッシブなフレーズまで幅広い音楽性と、明瞭で美しい歪みのギターサウンド。デイヴィッド・エレフソンのエンハンスが効いたギタリストも魅了する印象的なドンシャリベース。ニック・メンザのパワフルかつタイトで正確なドラム。この4人のアンサンブルが今聴いても心揺さぶられる作品です。

余談になりますが、実は、数年前から私もアーティスト活動を再開し、2018年にアニソントリビュートバンド「アニソン・エボリューション」でマーティ・フリードマン氏をゲストに迎えアルバムを制作しました。そして、昨年12月にリリースした自身のソロアルバムでは、菅沼孝三氏 (デッド・チャップリン) にアルバム参加していただきました。少年時代から私に多大な影響を与えてくれたミュージシャンとの音楽制作を通じ、音楽の素晴らしさと可能性を改めて感じる機会になり、音楽への想いもさらに強くなりました。

話は少し脱線しましたが、今後は、私が手がけた作品が「誰かの一枚」になるように、引き続き全身全霊で音楽制作に取り組んでいければと考えております。

このような素晴らしい機会をいただき心より感謝申し上げます。

Data File

2019年ミリオン認定作品

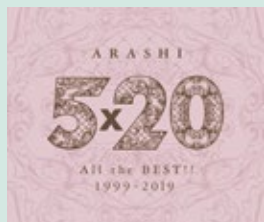
2019年1月から12月の期間中ミリオン以上に認定された作品は、音楽ソフトと有料音楽配信あわせて15作品となった。アルバムでは、嵐『5×20 All the BEST!! 1999-2019』が2ミリオンを達成、シングルトラックでは米津玄師「Lemon」が同カテゴリでは3作品目となる3ミリオンに認定された。

音楽ソフト

※日付は発売日

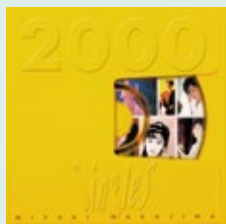
アルバム

▶2ミリオン



5×20 All the BEST!! 1999-2019
嵐
2019/06/26
ジェイ・ストーム

▶ミリオン



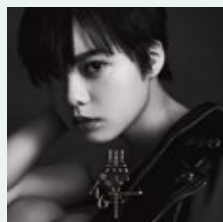
©YAMAHA MUSIC COMMUNICATIONS
Singles 2000
中島 みゆき
2002/04/17
ヤマハミュージック
コミュニケーションズ

シングル

▶ミリオン



©You.Be Cool!/KING RECORDS
ジワるDAYS
AKB48
2019/03/13
キングレコード



黒い羊
榎坂46
2019/02/27
ソニー・ミュージックレーベルズ



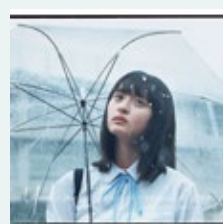
Sing Out!
乃木坂46
2019/05/29
ソニー・ミュージックレーベルズ



Lights / Boy With Luv
BTS
2019/07/03
ユニバーサル ミュージック



©You.Be Cool!/KING RECORDS
サステナブル
AKB48
2019/09/18
キングレコード



夜明けまで強がらなくてもいい
乃木坂46
2019/09/04
ソニー・ミュージックレーベルズ

有料音楽配信 シングルトラック

※日付は配信開始日

▶3ミリオン



Lemon
米津玄師
2018/02/12
ソニー・ミュージックレーベルズ

▶ミリオン



トリセツ
西野 カナ
2015/09/09
ソニー・ミュージックレーベルズ

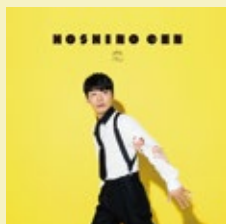


逢いたくていま
MISIA
2009/11/09
ソニー・ミュージックレーベルズ



歩み
GReeeeN
2009/01/28
ユニバーサル ミュージック

▶2ミリオン



恋
星野 源
2016/10/11
JVCケンウッド・
ピクチャーエンタテインメント



虹
Aqua Timez
2008/05/06
ソニー・ミュージックレーベルズ

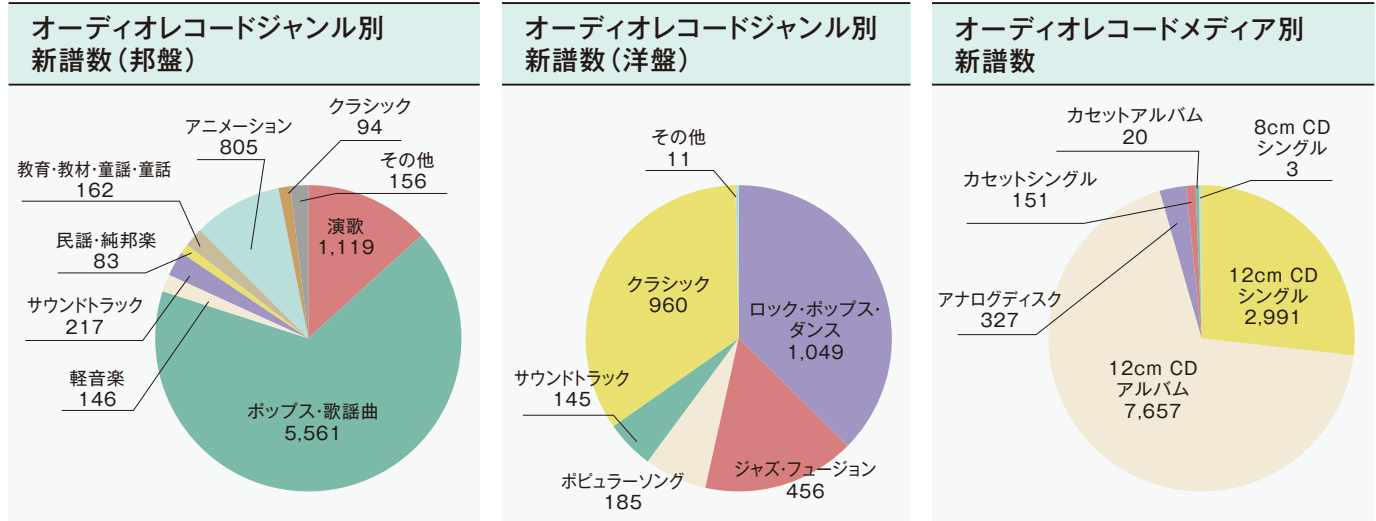


やさしさで溢れるように
JUJU
2009/02/11
ソニー・ミュージックレーベルズ

2019年1月～12月新譜タイトル数

2019年の1月から12月に発売された新譜タイトル数がまとまった。

オーディオレコードは前年比86%の11,149タイトル、音楽ビデオは前年比87%の1,462タイトルとなった。



1. オーディオレコード

ジャンル		8cmCD シングル	12cmCD シングル	12cmCD アルバム	CD計	アナログ ディスク	カセット シングル	カセット アルバム	合計
邦盤	演歌	1	550	411	962	1	146	10	1,119
	ポップス・歌謡曲	2	1,980	3,339	5,321	232	3	5	5,561
	軽音楽	0	12	134	146	0	0	0	146
	サウンドトラック	0	2	213	215	2	0	0	217
	民謡・純邦楽	0	11	68	79	0	2	2	83
	教育・教材・童謡・童話	0	1	161	162	0	0	0	162
	アニメーション	0	357	438	795	10	0	0	805
	クラシック	0	0	93	93	1	0	0	94
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	48	108	156	0	0	0	156
	邦盤計	3 (100%)	2,961 (88%)	4,965 (91%)	7,929 (90%)	246 (101%)	151 (86%)	17 (68%)	8,343 (90%)
洋盤	ロック・ポップス・ダンス	0	20	970	990	59	0	0	1,049
	ジャズ・フュージョン	0	1	433	434	20	0	2	456
	ポピュラーソング	0	9	174	183	1	0	1	185
	サウンドトラック	0	0	145	145	0	0	0	145
	クラシック	0	0	959	959	1	0	0	960
	その他	0	0	11	11	0	0	0	11
	洋盤計	0 (-)	30 (158%)	2,692 (76%)	2,722 (77%)	81 (76%)	0 (-)	3 (30%)	2,806 (77%)
合計	3 (100%)	2,991 (89%)	7,657 (85%)	10,651 (86%)	327 (93%)	151 (86%)	20 (57%)	11,149 (86%)	

2. ビデオレコード

ジャンル	ディスク		合計
	DVD	ブルーレイディスク	
邦楽	611	546	1,157
洋楽	105	93	198
カラオケ	107	0	107
合計	823 (81%)	639 (96%)	1,462 (87%)

備考

1. 本年実績は、当協会会員社の集計である。
会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位:タイトル
3. ()内は対前年比

Monthly Production Report 2019年12月度レコード生産実績

12月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比89%の1,407万枚・巻、金額で同98%の225億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比79%の893万枚・巻、金額で同89%の121億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比114%の513万枚・巻、金額で同113%の105億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	12月実績						2019年1月~2019年12月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	2	0	206%	2	0	270%	41	0	65%	30	0	30%
	洋	0	0	-	0	0	-	2	0	-	0	0	-
	計	2	0	251%	2	0	271%	43	0	68%	30	0	30%
12cmCD シングル	邦	2,046	23	76%	1,730	14	84%	42,481	32	88%	35,515	23	90%
	洋	1	0	65%	1	0	56%	837	1	2502%	696	0	2158%
	計	2,047	23	76%	1,730	14	84%	43,318	32	89%	36,210	24	92%
シングル 計	邦	2,048	23	76%	1,732	14	84%	42,522	32	88%	35,544	23	90%
	洋	1	0	103%	1	0	57%	839	1	2507%	696	0	2159%
	計	2,049	23	76%	1,732	14	84%	43,361	32	89%	36,240	24	92%
12cmCD アルバム	邦	5,681	64	85%	9,168	76	101%	75,557	56	103%	99,556	65	101%
	洋	1,012	11	57%	874	7	39%	13,407	10	86%	13,753	9	83%
	計	6,693	75	79%	10,042	83	89%	88,964	66	100%	113,308	74	99%
CD計	邦	7,729	87	83%	10,899	90	98%	118,079	88	97%	135,100	88	98%
	洋	1,013	11	57%	874	7	39%	14,246	11	92%	14,448	9	87%
	計	8,742	98	79%	11,774	97	88%	132,325	99	96%	149,548	98	97%
アナログ ディスク	邦	52	1	230%	100	1	232%	577	0	111%	1,104	1	106%
	洋	42	0	110%	65	1	86%	643	0	108%	1,042	1	100%
	計	95	1	155%	165	1	139%	1,219	1	109%	2,146	1	103%
カセット テープ	邦	31	0	105%	39	0	145%	330	0	75%	308	0	82%
	洋	0	0	131%	0	0	142%	6	0	161%	10	0	219%
	計	31	0	105%	40	0	145%	336	0	76%	318	0	83%
その他	邦	21	0	170%	26	0	123%	142	0	103%	249	0	109%
	洋	45	1	77%	84	1	77%	281	0	76%	511	0	71%
	計	66	1	93%	109	1	84%	422	0	83%	761	0	80%
合計	邦	7,833	88	83%	11,064	92	99%	119,127	89	97%	136,761	90	98%
	洋	1,100	12	59%	1,024	8	42%	15,175	11	92%	16,012	10	87%
	計	8,934	100	79%	12,088	100	89%	134,302	100	96%	152,773	100	97%

音楽ビデオ

	12月実績						2019年1月~2019年12月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	3,850	75	132%	6,166	59	136%	30,980	67	76%	38,243	50	85%
	洋	39	1	29%	25	0	10%	606	1	109%	996	1	140%
	計	3,890	76	127%	6,191	59	130%	31,586	68	76%	39,239	51	85%
ブルーレイ ディスク	邦	1,230	24	86%	4,239	41	98%	14,579	31	107%	36,396	48	101%
	洋	14	0	37%	24	0	13%	207	0	86%	722	1	98%
	計	1,244	24	85%	4,264	41	94%	14,786	32	106%	37,118	49	101%
テープ・その他	計	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
合計	邦	5,080	99	117%	10,405	100	118%	45,558	98	84%	74,639	98	92%
	洋	53	1	31%	49	0	12%	813	2	102%	1,718	2	119%
	計	5,133	100	114%	10,455	100	113%	46,371	100	84%	76,357	100	92%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	12月実績						2019年1月~2019年12月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	8,934	64	79%	12,088	54	89%	134,302	74	96%	152,773	67	97%	
音楽ビデオ計	5,133	36	114%	10,455	46	113%	46,371	26	84%	76,357	33	92%	
合計	邦	12,913	92	94%	21,469	95	107%	164,685	91	93%	211,399	92	96%
	洋	1,154	8	57%	1,073	5	38%	15,988	9	92%	17,730	8	89%
	計	14,067	100	89%	22,543	100	98%	180,673	100	93%	229,129	100	95%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	12月実績						2019年1月~2019年12月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	5,674	70	98%	8,648	52	116%	58,527	67	81%	68,500	47	86%
ブルーレイディスク	2,390	30	74%	8,133	48	87%	29,207	33	111%	78,051	53	106%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	63%	0	0	50%
合計	8,064	100	89%	16,782	100	100%	87,734	100	89%	146,551	100	95%

オーディオ/ビデオレコード合計

	12月実績						2019年1月~2019年12月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	8,934	53	79%	12,088	42	89%	134,302	60	96%	152,773	51	97%
ビデオレコード計	8,064	47	89%	16,782	58	100%	87,734	40	89%	146,551	49	95%
合計	16,997	100	84%	28,870	100	95%	222,036	100	93%	299,323	100	96%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

ゴールド	光の気配	KinKi Kids	2019.12.04	ジェイ・ストーム (ジャニーズエンタテインメント・レコード)
	大丈夫/最上の船頭	氷川 きよし	2019.03.12	日本コロムビア
	ガッタンゴットンGO!	BOYS AND MEN	2019.12.25	ユニバーサル ミュージック
	ERA	MILK	2019.11.06	SDR

アルバム | 邦楽

ゴールド	UNSER	UVERworld	2019.12.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
	木村好夫のギター演歌 ~昭和の名曲コレクション~	木村好夫と演歌倶楽部	2016.03.02	日本クラウン
	Love Covers	ジェジュン	2019.09.25	First JB music
	THE BEST OF 防弾少年団 -KOREA EDITION-	BTS	2017.01.06	ポニーキャニオン

ビデオ | 邦楽

ゴールド	LIVE TOUR 2019 FREE HUGS!	Kis-My-Ft2	2019.12.11	エイベックス・エンタテインメント
	Mr.Children Dome Tour 2019 "Against All GRAVITY"	Mr.Children	2019.12.25	トイズファクトリー

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

トリプル・プラチナ	花束	back number	2011.06.15	ユニバーサル ミュージック
ダブル・プラチナ	Pretender	Official髭男dism	2019.04.17	ポニーキャニオン
	紅蓮華	LiSA	2019.04.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	宿命	Official髭男dism	2019.07.09	ポニーキャニオン
ゴールド	Boyfriend -part II- / 原題: What Makes Me Fall In Love	Crystal Kay	2004.02.26	ソニー・ミュージックレーベルズ
	No pain, No game	ナノ	2012.09.29	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	日曜日	back number	2012.05.30	ユニバーサル ミュージック
	インフェルノ	Mrs. GREEN APPLE	2019.07.18	ユニバーサル ミュージック
	生きとし生ける物へ	森山 直太朗	2005.06.01	ユニバーサル ミュージック

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

今月は「働き方改革」をテーマに、会員社担当部署にご協力いただき座談会を開催しました。私自身、報道などを見てもどこか他人事のように感じてしまっており、なおかつ自分の職場以外の環境に触れることは殆ど無かったので、各社で実践されている様々な取り組みをお聞きし、違う世界を見ることができてとても新鮮でした。ITの活用で多様な働き方を支援し、場所を選ばずに働けるなど生産性向上につなげる、というお話もあったのですが、オフィス環境づくりのパートでは「コミュニケーション」という言葉が何度も出されていたのが印象的でした。何やら就活の面接対策のようですが、どこでも働けるけれど、誰かと対面する場を大事にして、つくったものをさらに広げていくという根っこの部分は変わらないのだと思います。

皆さま、日々お忙しいなかご参加いただき本当にありがとうございました！

(M)

THE RECORD No.723 2020年2月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2020年2月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンシル



エルマークキャラクター
エルマーくん

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。